

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成29年2月9日 (2017.2.9)

【公開番号】特開2016-77474(P2016-77474A)  
 【公開日】平成28年5月16日 (2016.5.16)  
 【年通号数】公開・登録公報2016-029  
 【出願番号】特願2014-211071(P2014-211071)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月22日 (2016.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

予告対象となる図柄変動ゲームの開始前から予告対象となる図柄変動ゲーム中にわたって予告演出を実行可能な遊技機において、

前記予告演出を実行させる予告制御手段と、

予告対象となる図柄変動ゲームの開始前であって、かつ前記予告演出の最初に導出される初回演出態様と、該初回演出態様よりも後であって、かつ予告対象となる図柄変動ゲームの開始時に導出される開始時演出態様と、予告対象となる図柄変動ゲーム中であって、かつ前記予告演出の最後に導出される最終演出態様と、を決定するベース演出態様決定手段と、

前記初回演出態様と前記開始時演出態様の間で導出する第 1 途中過程の演出態様を決定する途中過程演出態様決定手段と、を備え、

前記初回演出態様、前記開始時演出態様、前記最終演出態様、及び前記第 1 途中過程の演出態様は、当り期待度に応じてそれぞれ複数種類あり、

前記予告制御手段は、前記第 1 途中過程の演出態様を複数段階にわたって変化させることが可能であって、

前記途中過程演出態様決定手段は、

前記初回演出態様を前記第 1 途中過程の演出態様を決定するためのベース演出態様とし、該ベース演出態様に基づいて前記第 1 途中過程の演出態様を決定する遊技機。

【請求項 2】

予告対象となる図柄変動ゲームの開始前から予告対象となる図柄変動ゲーム中にわたって予告演出を実行可能な遊技機において、

前記予告演出を実行させる予告制御手段と、

予告対象となる図柄変動ゲームの開始前であって、かつ前記予告演出の最初に導出される初回演出態様と、該初回演出態様よりも後であって、かつ予告対象となる図柄変動ゲームの開始時に導出される開始時演出態様と、予告対象となる図柄変動ゲーム中であって、かつ前記予告演出の最後に導出される最終演出態様と、を決定するベース演出態様決定手段と、

前記初回演出態様と前記開始時演出態様の間で導出する第 1 途中過程の演出態様を決定

する途中過程演出態様決定手段と、を備え、

前記初回演出態様、前記開始時演出態様、前記最終演出態様、及び前記第1途中過程の演出態様は、当り期待度に応じてそれぞれ複数種類あり、

前記予告制御手段は、前記第1途中過程の演出態様を複数段階にわたって変化させることが可能であって、

前記途中過程演出態様決定手段は、

前記開始時演出態様を前記第1途中過程の演出態様を決定するためのベース演出態様とし、該ベース演出態様に基づいて前記第1途中過程の演出態様を決定する遊技機。

【請求項3】

前記途中過程演出態様決定手段は、

前記開始時演出態様と前記最終演出態様の間で導出する第2途中過程の演出態様を決定し、前記第2途中過程の決定においては前記開始時演出態様を前記第2途中過程の演出態様を決定するためのベース演出態様とし、該ベース演出態様に基づいて前記第2途中過程の演出態様を決定する請求項1又は請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記途中過程演出態様決定手段は、

前記開始時演出態様と前記最終演出態様の間で導出する第2途中過程の演出態様を決定し、前記第2途中過程の決定においては前記最終演出態様を前記第2途中過程の演出態様を決定するためのベース演出態様とし、該ベース演出態様に基づいて前記第2途中過程の演出態様を決定する請求項1又は請求項2に記載の遊技機。

【請求項5】

始動口への遊技球の入球時に取得した当り乱数の値が所定の当り判定値と一致するかを前記始動口への遊技球の入球時に確認する確認手段と、

該確認手段の確認結果に従って、前記予告演出を実行させるかを決定する実行決定手段と、を備え、

前記ベース演出態様決定手段は、前記始動口への遊技球の入球時に前記初回演出態様、前記開始時演出態様、及び前記最終演出態様を決定し、

前記途中過程演出態様決定手段は、前記始動口への遊技球の入球時に前記第1途中過程の演出態様を決定する一方で、予告対象となる図柄変動ゲームの開始時に前記第2途中過程の演出態様を決定する請求項3又は請求項4に記載の遊技機。

【請求項6】

予告対象となる図柄変動ゲームの開始時まで実行される前記予告演出の演出態様は、実行が保留されている図柄変動ゲームの回数を把握できるように報知する保留表示部に表示される表示画像の表示態様を変化させて、予告対象となる図柄変動ゲームの当り期待度を報知する態様で行われる一方、

予告対象となる図柄変動ゲームの開始時から予告対象となる図柄変動ゲームにおける特定時点まで実行される前記予告演出の演出態様は、前記表示画像と同一又は略同一である演出画像を用い、予告対象となる図柄変動ゲームの開始時まで導出された最終表示態様の続きとなるよう、予告対象となる図柄変動ゲームの開始時まで実行された前記予告演出と同一又は略同一の変化態様で前記演出画像の表示態様を変化させて、実行中の図柄変動ゲームの当り期待度を報知する態様で行われる請求項1～請求項5のうちいずれか一項に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記問題点を解決する遊技機は、予告対象となる図柄変動ゲームの開始前から予告対象となる図柄変動ゲーム中にわたって予告演出を実行可能な遊技機において、前記予告演出

を実行させる予告制御手段と、予告対象となる図柄変動ゲームの開始前であって、かつ前記予告演出の最初に導出される初回演出態様と、該初回演出態様よりも後であって、かつ予告対象となる図柄変動ゲームの開始時に導出される開始時演出態様と、予告対象となる図柄変動ゲーム中であって、かつ前記予告演出の最後に導出される最終演出態様と、を決定するベース演出態様決定手段と、前記初回演出態様と前記開始時演出態様の間で導出する第1途中過程の演出態様を決定する途中過程演出態様決定手段と、を備え、前記初回演出態様、前記開始時演出態様、前記最終演出態様、及び前記第1途中過程の演出態様は、当り期待度に応じてそれぞれ複数種類あり、前記予告制御手段は、前記第1途中過程の演出態様を複数段階にわたって変化させることが可能であって、前記途中過程演出態様決定手段は、前記初回演出態様を前記第1途中過程の演出態様を決定するためのベース演出態様とし、該ベース演出態様に基づいて前記第1途中過程の演出態様を決定することを要旨とする。

上記問題点を解決する遊技機は、予告対象となる図柄変動ゲームの開始前から予告対象となる図柄変動ゲーム中にわたって予告演出を実行可能な遊技機において、前記予告演出を実行させる予告制御手段と、予告対象となる図柄変動ゲームの開始前であって、かつ前記予告演出の最初に導出される初回演出態様と、該初回演出態様よりも後であって、かつ予告対象となる図柄変動ゲームの開始時に導出される開始時演出態様と、予告対象となる図柄変動ゲーム中であって、かつ前記予告演出の最後に導出される最終演出態様と、を決定するベース演出態様決定手段と、前記初回演出態様と前記開始時演出態様の間で導出する第1途中過程の演出態様を決定する途中過程演出態様決定手段と、を備え、前記初回演出態様、前記開始時演出態様、前記最終演出態様、及び前記第1途中過程の演出態様は、当り期待度に応じてそれぞれ複数種類あり、前記予告制御手段は、前記第1途中過程の演出態様を複数段階にわたって変化させることが可能であって、前記途中過程演出態様決定手段は、前記開始時演出態様を前記第1途中過程の演出態様を決定するためのベース演出態様とし、該ベース演出態様に基づいて前記第1途中過程の演出態様を決定することを要旨とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記遊技機について、前記途中過程演出態様決定手段は、前記開始時演出態様と前記最終演出態様の間で導出する第2途中過程の演出態様を決定し、前記第2途中過程の決定においては前記開始時演出態様を前記第2途中過程の演出態様を決定するためのベース演出態様とし、該ベース演出態様に基づいて前記第2途中過程の演出態様を決定するようにしてもよい。

上記遊技機について、前記途中過程演出態様決定手段は、前記開始時演出態様と前記最終演出態様の間で導出する第2途中過程の演出態様を決定し、前記第2途中過程の決定においては前記最終演出態様を前記第2途中過程の演出態様を決定するためのベース演出態様とし、該ベース演出態様に基づいて前記第2途中過程の演出態様を決定するようにしてもよい。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記遊技機について、始動口への遊技球の入球時に取得した当り乱数の値が所定の当り判定値と一致するかを前記始動口への遊技球の入球時に確認する確認手段と、該確認手段

の確認結果に従って、前記予告演出を実行させるかを決定する実行決定手段と、を備え、前記ベース演出態様決定手段は、前記始動口への遊技球の入球時に前記初回演出態様、前記開始時演出態様、及び前記最終演出態様を決定し、前記途中過程演出態様決定手段は、前記始動口への遊技球の入球時に前記第1途中過程の演出態様を決定する一方で、予告対象となる図柄変動ゲームの開始時に前記第2途中過程の演出態様を決定するようにしてもよい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記遊技機について、予告対象となる図柄変動ゲームの開始時まで実行される前記予告演出の演出態様は、実行が保留されている図柄変動ゲームの回数を把握できるように報知する保留表示部に表示される表示画像の表示態様を変化させて、予告対象となる図柄変動ゲームの当り期待度を報知する態様で行われる一方、予告対象となる図柄変動ゲームの開始時から予告対象となる図柄変動ゲームにおける特定時点まで実行される前記予告演出の演出態様は、前記表示画像と同一又は略同一である演出画像を用い、予告対象となる図柄変動ゲームの開始時まで導出された最終表示態様の続きとなるよう、予告対象となる図柄変動ゲームの開始時まで実行された前記予告演出と同一又は略同一の変化態様で前記演出画像の表示態様を変化させて、実行中の図柄変動ゲームの当り期待度を報知する態様で行われるようにしてもよい。